

第15回 明治大学小史展

草創期明治法律学校を 支えた人々

2004・2・13（金）～5・7（金）

大学会館1階ロビー

主幹 明治大学史資料センター事務室

明治大学の前身である明治法律学校は、今から123年前の1881（明治14）年に開校しました。設立当初の学校運営はとても順調とはいえず、常に存亡の危機に晒されていました。こうした苦難を乗り越えて学校を維持することが出来たのは、多くの関係者の支援と協力があったからです。そのことについて、今回は「草創期明治法律学校を支えた人々」と題し、展示をしました。

なお、お問い合わせは大学史資料センター事務室（本館6F）までお願い致します。



ボワソナードを囲んでの記念写真（明治期）

展示品

I 創立者を支えた学生群像

1 斎藤孝治

明治法律学校は23名の講法学社（法律私塾）の元学生達が、法律教育を目指す創立者達に開校を願ったことから始まった。斎藤は講法学社で学んだ後、同校の事務に携わっていたが、元学生達に請われて明治法律学校に招かれた。彼は幹事・塾監を務め、実務の上で大きな役割を果たした。また自らも生徒として学び、代言人資格を取得して活躍、のちに東京府議会議長を務める。

(1) 写真 明治期

(2) 転校届 明治14

東京府知事宛に、幹事の斎藤孝治名で出されたもの。書類上の開校地から、実際に開校した数寄屋橋への転校届である。



2 田島義方

田島は明治法律学校卒業後、引き続き職員として学校に残り、各種事務業務にあたった。のち大学事務長・理事を務め、今日の学校経営と職員体制の基礎を作った。

(3) 写真 明治期

(4) 明法学士認許状 明治34

明治法律学校では、明治34年以降卒業生に明法学士の称号を与えることとなった。この資料はそのときのものである。

3 佐々木忠蔵

山形師範学校を卒業後、天童小学校訓導となるも、同郷の創立者宮城浩蔵を頼って上京し、明治法律学校に入学する。法律を学びながら、宮城の選挙活動や明治法律学校機関誌『法政誌叢』の編集にあたる。卒業後は台湾県属を皮切りに官吏として活躍。のちに郷里に戻り、天童小学校長などを務めた。

(5) 写真

(6) ノート「宮城浩蔵先生伝」

佐々木は宮城が第一回総選挙に立候補したとき、選挙参謀の一人として活動した。

II 家族・縁者の協力

4 長直四郎

東京府桜田小学校訓導をへて、銀行経営等に関わる。創立者矢代操とはお互いの妻が姉妹である関係で義兄弟となる。長は経営の苦しい明治法律学校を資金面で援助した。

(7) 写真

(8) 借金証書 明治15

長に300円の借金を申し込んだ時の証書である。依頼人は矢代、岸本辰雄、保証人

人は杉村虎一となっている。

III 同期・同窓生の協力

5 杉村虎一

創立者たちと司法省法学校（明法寮）で学ぶ。同校では創立者たちと親しく接し、創立者および磯部四郎とあわせ、「明法寮の五人組」と称された。外務省御用掛准奏を務めるかたわら、明治法律学校で講義を行う。のちメキシコ、ペルー、ドイツ等の特命全権大使の任にあたった。明治法律学校評議員、明治大学名誉顧問をつとめる。

(9) 写真

(10) 教員表 明治23

杉村は1881（明治14）年の明治法律学校開校当初から教壇に立ち、模擬裁判、仏国民法貸借の部を担当した。

6 磯部四郎

司法省法学校で創立者と同期。明治法律学校では民法のかつて刑法、商法を受け持った。代言人、司法権大書記官、大審院判事、同検事を歴任。

(11) 写真

(12) 著書『民法証拠編講義』 明治20

明治法律学校での講義をまとめもの。



7 西園寺公望

創立者たちと留学先のフランスで出会い、親交を深める。帰国後、明治法律学校の創設を支援した。学校ではフランス行政法、憲法を講じた。のち文部大臣、内閣総理大臣、貴族院議員を歴任。明治大学商議員、名誉講師。

(13) 写真

(14) 五味（百瀬）武策宛書簡 明治期

五味（百瀬）武策は、明治法律学校第1期卒業生で、当時は明治法律学校の塾監をしており、のちに判事となつた。



8 光妙寺三郎

光妙寺もまた留学先のフランスで創立者たちと出会う。「東洋のクレマンソー」を自認し、決闘論など奇抜な論説で学生に人気を博した。大審院検事などをつとめた後、宮城とともに第一回総選挙に立候補し、当選した。

(15) 写真

(16) 講義録『大日本帝国憲法講義』 明治20頃

光妙寺は仏国憲法や帝国憲法を教授した。

9 熊野敏三

司法省法学校にて岸本らと同期生。文部省御雇、司法省参事官を歴任する。

(17) 写真

(18) 論文「法律大意」『明法雑誌』 明治18

熊野は法律大意、人事法、相続法、万国公法の科目を担当した。

IV 外国人の指導

10 ポワソナード

フランス出身。明治政府の法律顧問。司法省法学校などで多くの法律家を養成する。

創立者の師にあたる。明治法律学校名誉校員。

(19) 肖像画

(20) 著書『日本訴訟法財産差押法案並注解』 明治16

訴訟法中の財産法案のポアソナード草案をまとめたもの。ポアソナードは多くの法律起草に関わった。

11 アッペール

フランス出身。司法省の御雇い外国人として来日。経済学を担当。その講義録は『経済学講義』(明治16年)としてまとめられている。同書はアカデミーコモン大学史展示室にて常設展示される。

(21) 写真

12 パテルノストロー

イタリア出身。司法省法律顧問として来日。司法省法学校教師。法理学、国際法を講じる。

(22) 著書『法理学講義』 明治24

明治法律学校における講義記録をまとめたもの。

(お知らせ)

2004年4月

アカデミーコモン地下1Fに大学史展示室がオープン！

本センターの運営による大学史常設展示室がアカデミーコモン内にオープンします。教職員・学生・校友に関する多彩な資料を常設展示しています。また、授業や学生寮の体験・再現コーナーや活躍する卒業生らの校友紹介コーナーなども用意されています。小史展ともどもぜひ御観覧下さい。

2004・2・13

明治大学史資料センター事務室

☎ 03(3296)4085・4086